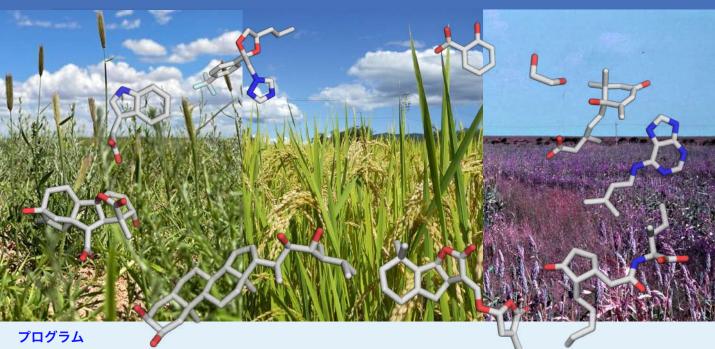
植物化学調節学会設立60周年記念シンポジウム

## 直物化学調節研究6

レジェンド研究者と現役研究者が照らす 化合物探求の軌跡と未来への



開会挨拶 中野雄司(植物化学調節学会会長) シンポジウム趣旨説明 水谷正治(神戸大学)

ジベレリン (GA) 「ジベレリン生合成経路」神谷勇治(理化学研究所) 「ジベレリン標識化合物と受容体」中嶋正敏(東京大学) 座長:草島美幸(慶應大学)

ブラシノステロイド (BR) 「ブラシノステロイドの発見」横田孝雄(帝京大学) 「ブラシノステロイドのシグナル伝達」中野雄司(京都大学) 座長:野村崇人(宇都宮大学)

ストリゴラクトン (SL) 「ストリゴラクトンと寄生雑草」米山弘一(宇都宮大学) 「ストリゴラクトンの生合成と受容」山口信次郎(京都大学) 座長:米山香織(埼玉大学)

オーキシン(Auxin) 「オーキシンの生理作用」小柴共一(東京都立大学) 「オーキシン制御剤と標識化合物の創製と活用」林謙一郎(岡山理科大学) 座長:笠原博幸(東京農工大学)

ジャスモン酸 (JA) 「ジャスモン酸の生理作用」山根久和(東京大学/帝京大学) 「ジャスモン酸のシグナル伝達」上田実(東北大学) 座長:岡田憲典(東京大学)

植物化学調節剤(PGR) 「植物ホルモン制御剤の創製と応用」浅見忠男(東京大学/横浜市立大学)

閉会挨拶 山口信次郎 (植物化学調節学会副会長)

日時:2025年11月1日(土)

13:00~17:30 (開場12:00)

場所:ライトキューブ宇都宮

(JR宇都宮駅直結)

形式:対面型(入場無料)

およびオンライン

主催:植物化学調節学会

学会の本大会に参加されない方は、

事前登録が必要です。 右のQRコードより 登録をお願いします。



P GR

お問い合わせ先:

水谷正治(神戸大学、シンポジウム企画) mizutani@gold.kobe-u.ac.jp 野村崇人(宇都宮大学、大会実行委員長) tnomura@cc.utsunomiya-u.ac.jp

<写真説明>

左:高層草原のストレス耐性植物 Chloris属 (モンゴル)

中:イネ(信州,日本)

右:ソルガムと寄生植物Striga属(スーダン) 化学構造式:植物ホルモン類とPGR